

ICTワーキンググループ研修報告

ICT活用授業の概要と生徒の反応



伊勢崎興陽高等学校

原澤 亮太

harasawa-ryo@staff.gsn.ed.jp

1. 授業の概要



ICT活用の目的

•教材作成ツール

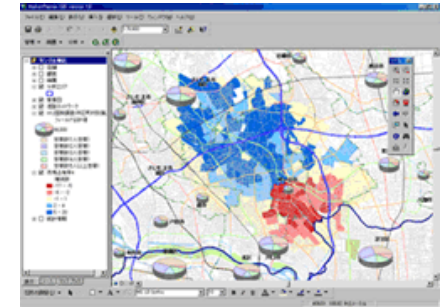
→GISによる地図作成

※ 統計地図など属性データとの一体処理に有用

→作図・画像処理ソフトによる図表作成

•資料提示ツール

→現代世界の諸事象を教える上で、
新鮮かつ具体的な資料提示は不可欠



地理Aの授業でいかに活用するか？

単元 ～ヨーロッパ地誌～

第2部 様々な地域の生活と環境

西アジア

インド

東南アジア

中国

ヨーロッパの生活・文化

1 導入：ヨーロッパとは【本時】

2 ヨーロッパの統合と課題

3 統合による産業の変化

生徒の実態

【知識・理解】 ～アンケート及びレジネステストより～

・予備知識がない状態からのスタート

→「ヨーロッパ」は国名？

→イタリアやフランス等個々の国に興味はある！

【地理的スキル】 ～日常の授業観察より～

・資料の活用が苦手

→とくに想像力・表現力を要する推測・考察

指導目標

①ヨーロッパに関する曖昧な知識の具体化

- 日本とヨーロッパの距離感・位置関係を把握
- 主要な国の位置や名称を覚える

②資料活用と言語活動の機会の充実

- 読解や作業を通し、資料活用能力を養う
- 知識の定着を図る

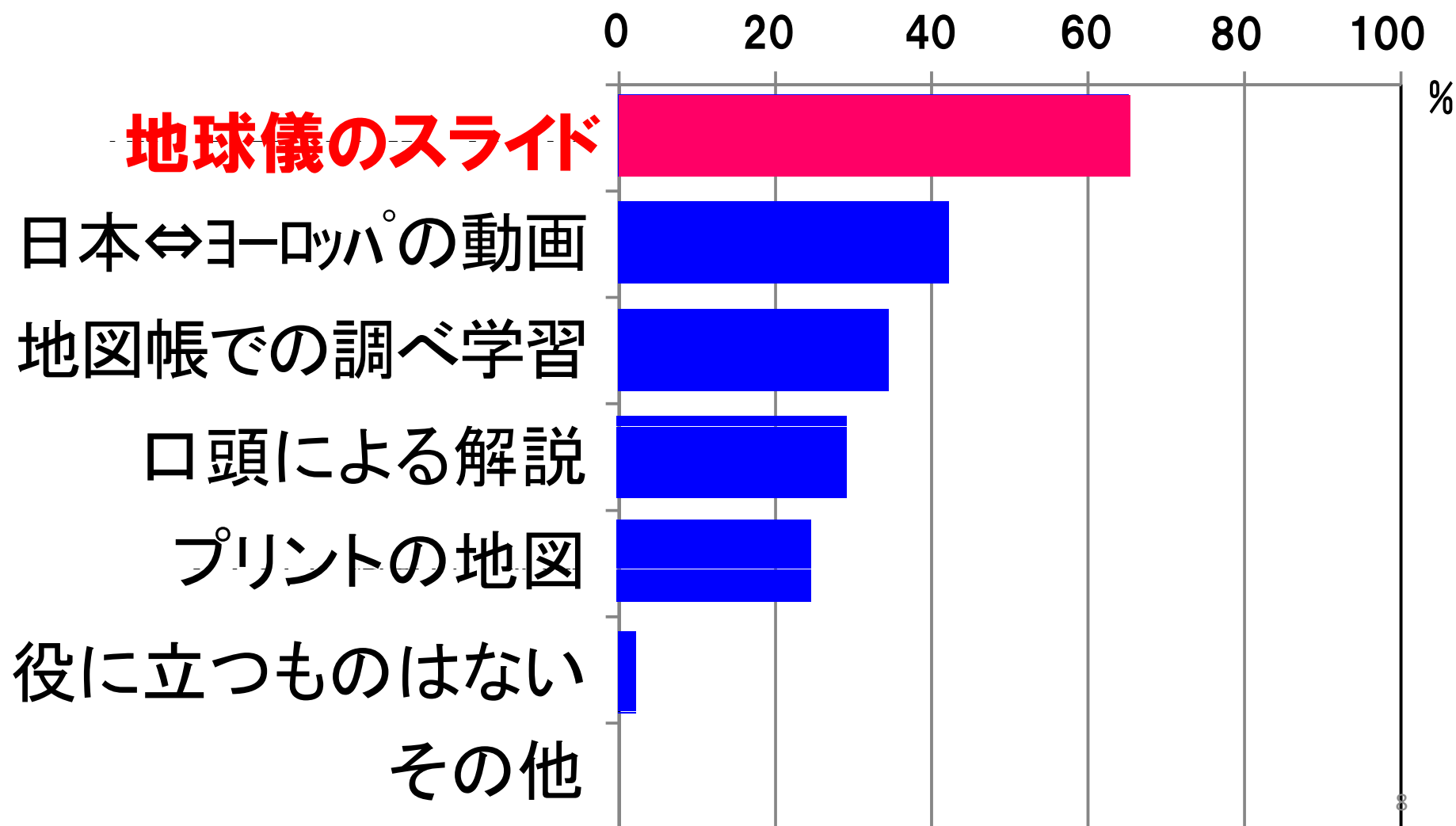
③ICT活用による興味・関心の喚起

2. 生徒の反応



導入における生徒の反応

ヨーロッパの位置を知るうえで役立った資料

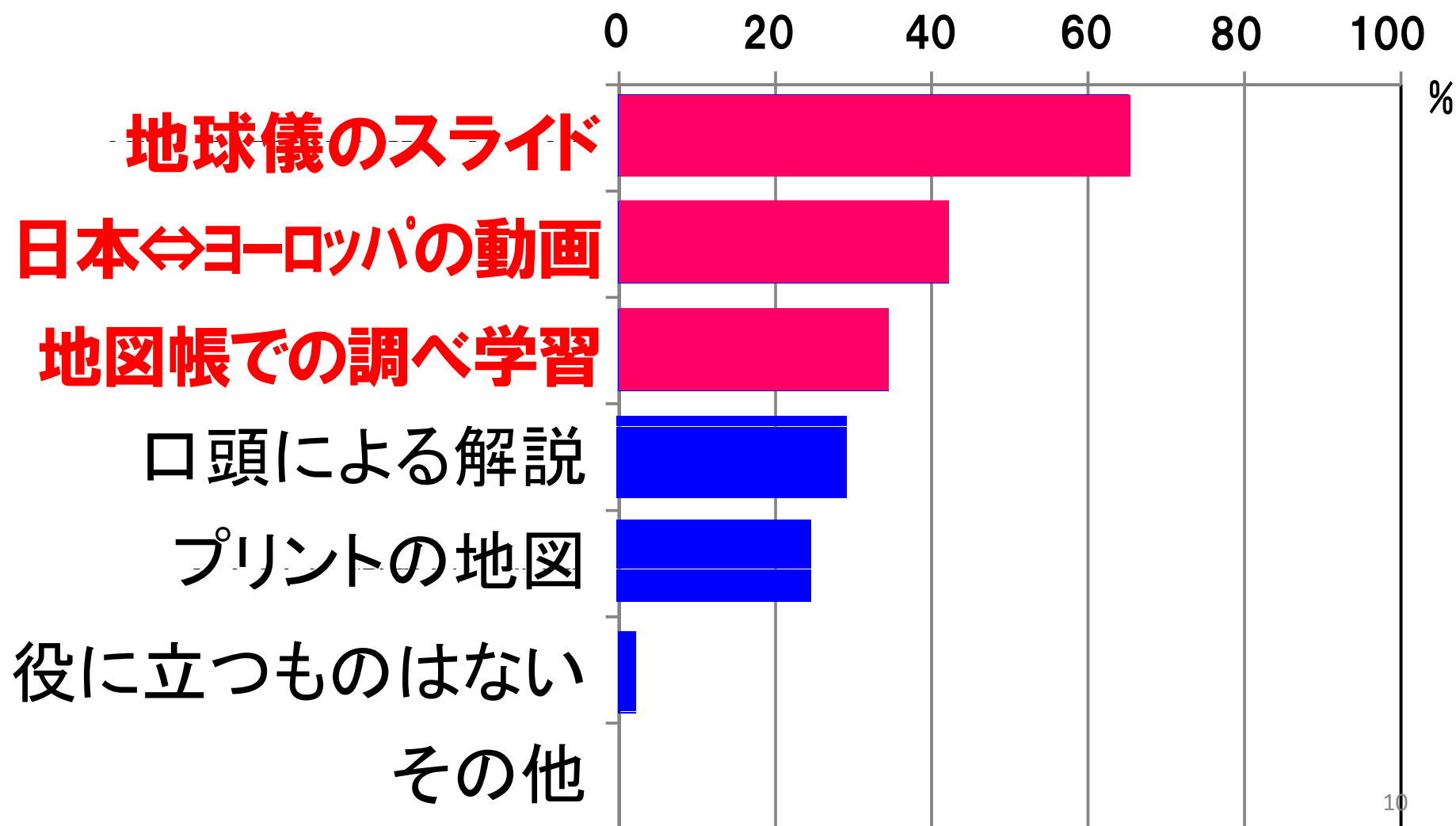


Registered HyperCam 3



導入における生徒の反応

ヨーロッパの位置を知るうえで役立った資料

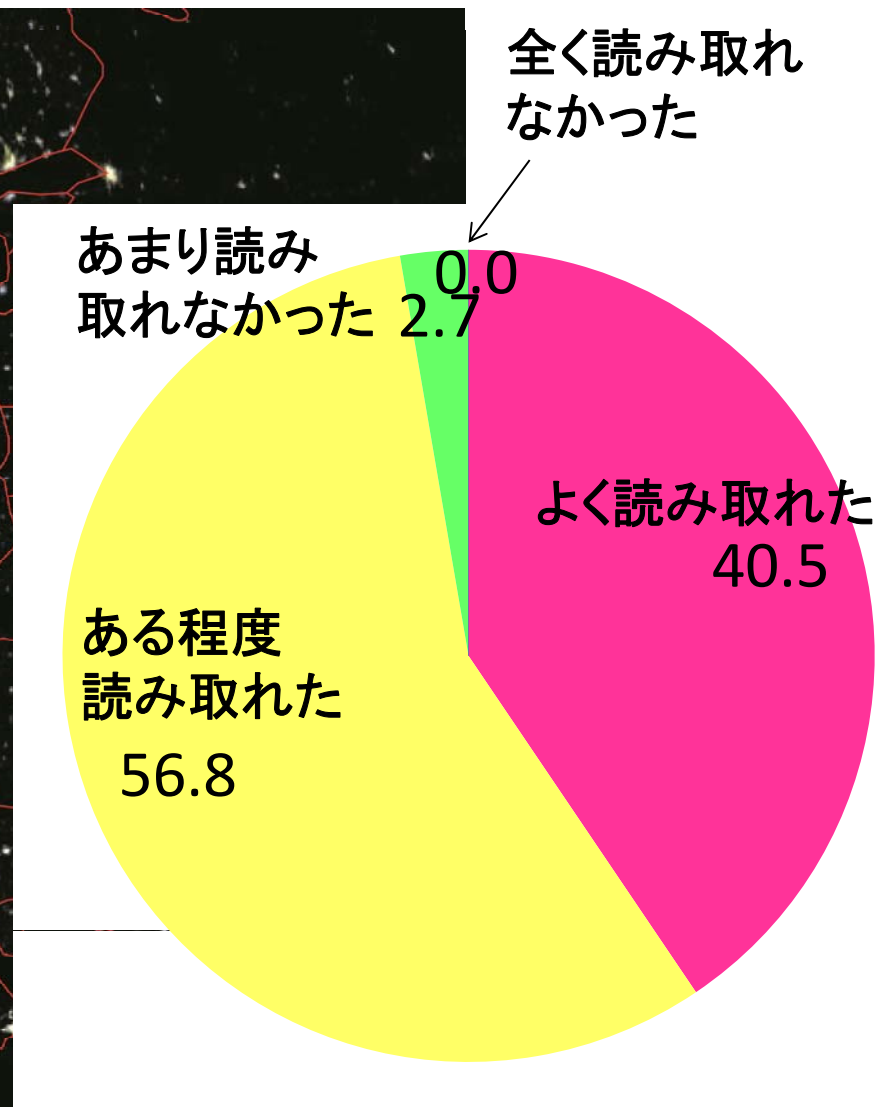
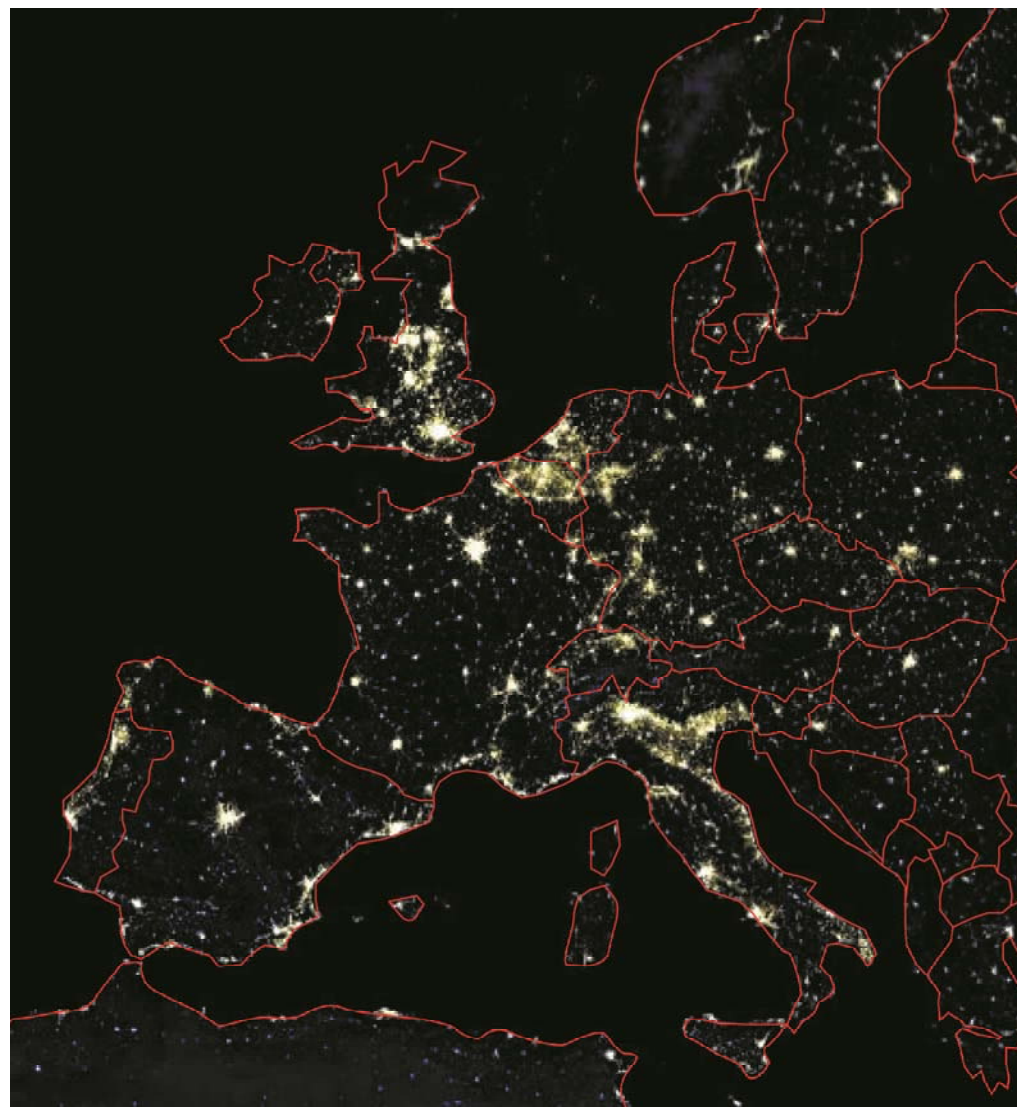


導入におけるICT活用の意義

- 導入部分での**動画**活用の効果が大い
 - 生徒の**興味・関心**を惹きつける
 - 距離感・位置関係を**具体的にイメージ**しやすい
- 従来の**調べ学習**との併用が望ましい
 - 手を動かすことにより知識の定着を図る
 - 資料活用能力の醸成

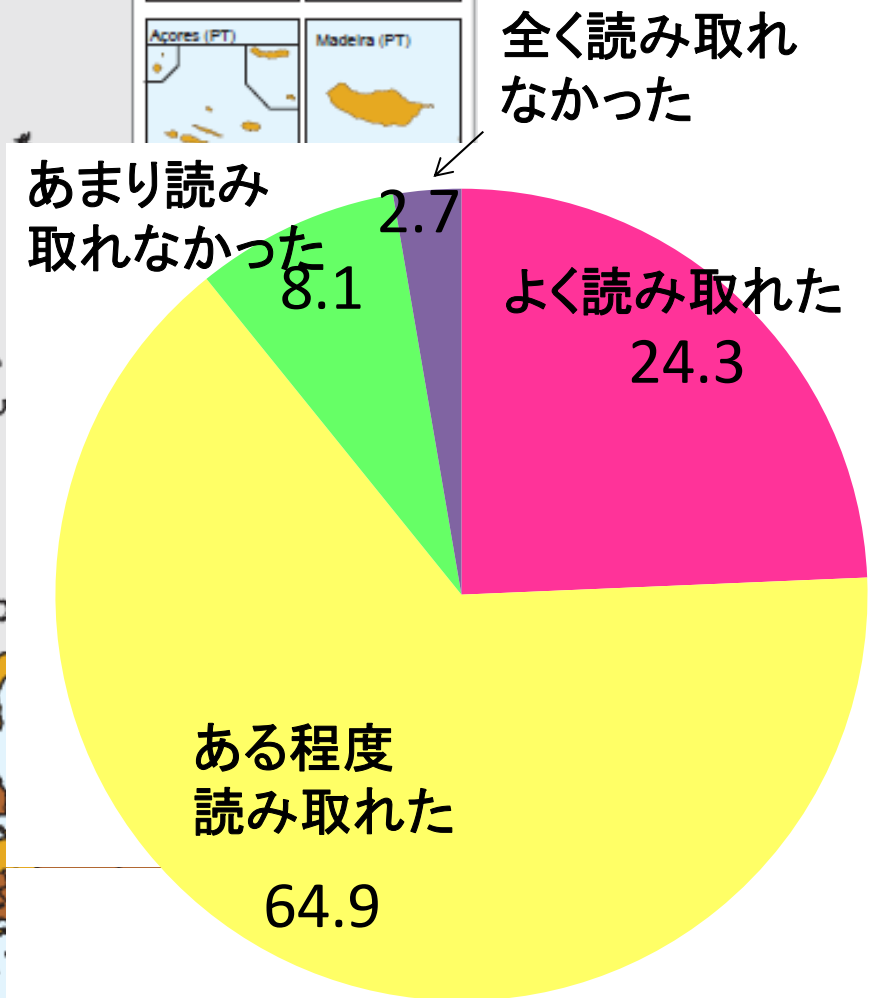
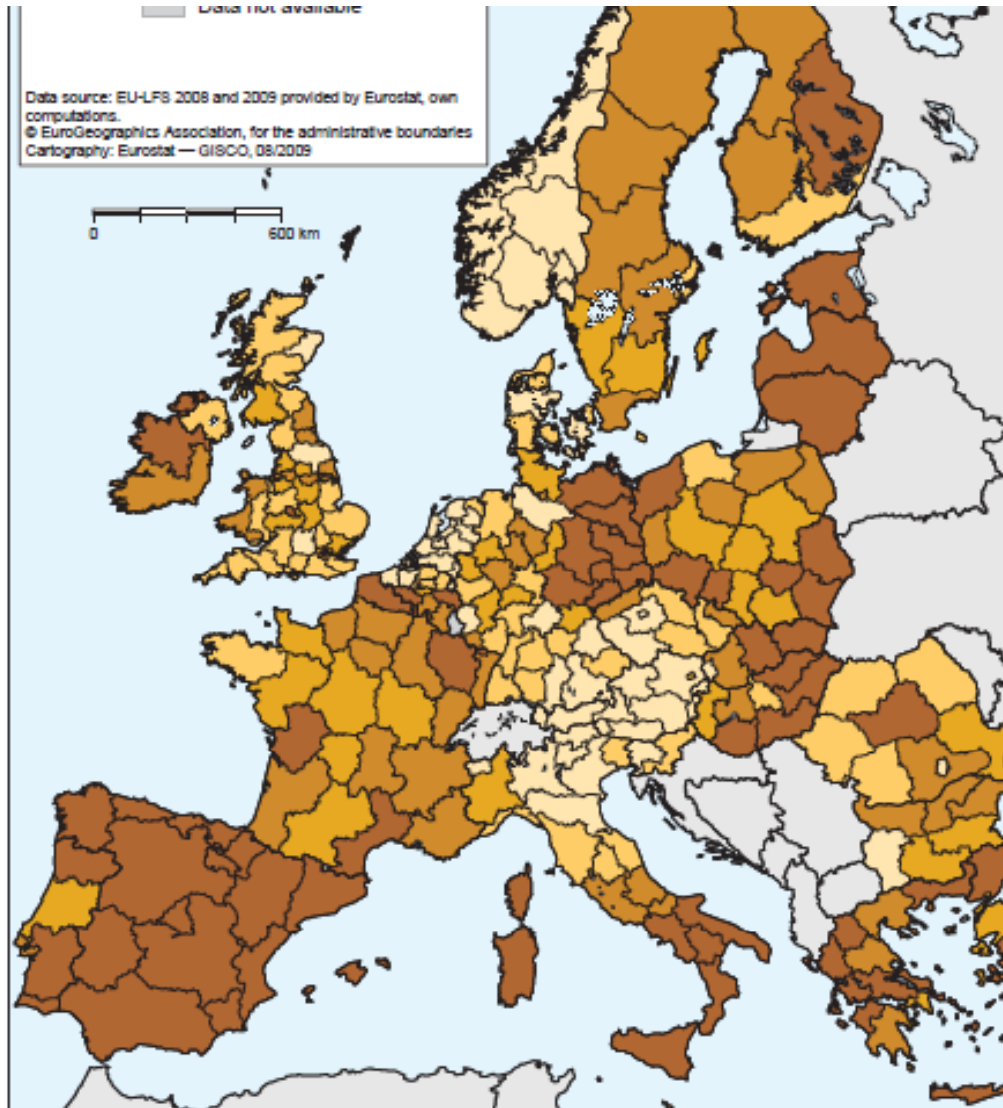
展開における生徒の反応

夜の明かり 明るい場所・暗い場所の特徴を読み取らせる



展開における生徒の反応

失業率 失業率の高低と人口密度との関係を考察させる



展開におけるICT活用の意義

・様々な統計地図の作成・提示

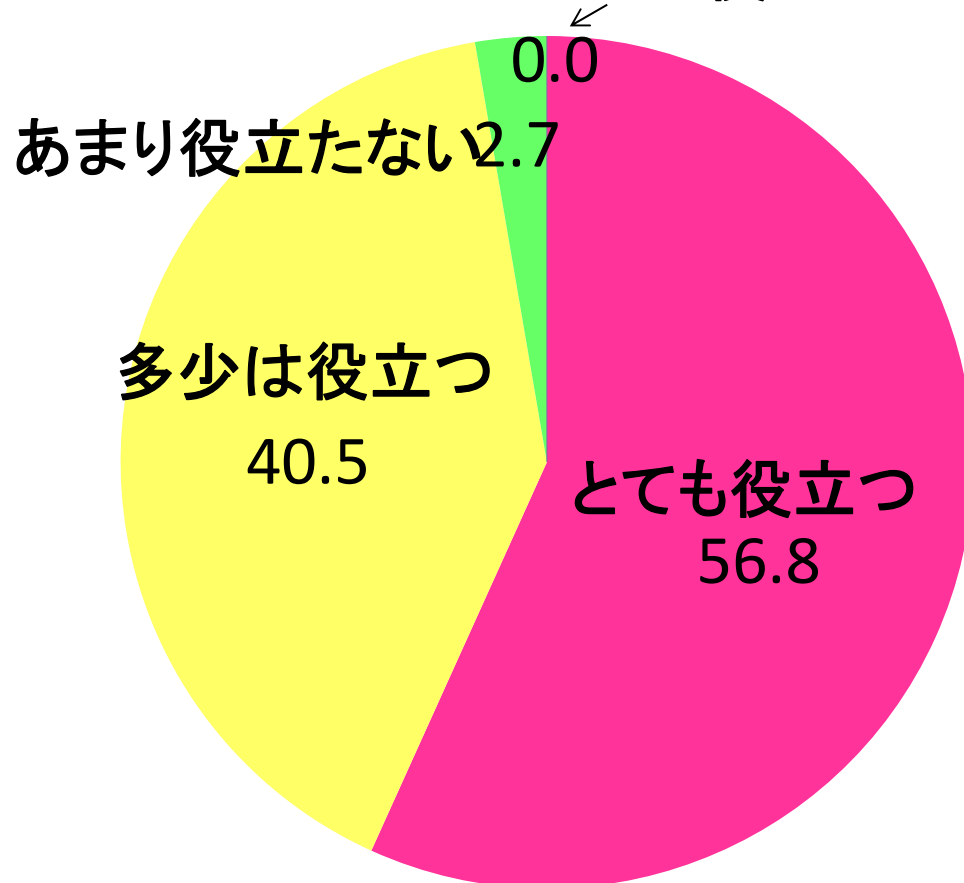
- GISを活用した様々な統計資料を見せ、多角的に地域を捉える力を養える
- 多くの地図に触れることで、資料活用のトレーニングができる

・十分な作業時間と発言の場が必要

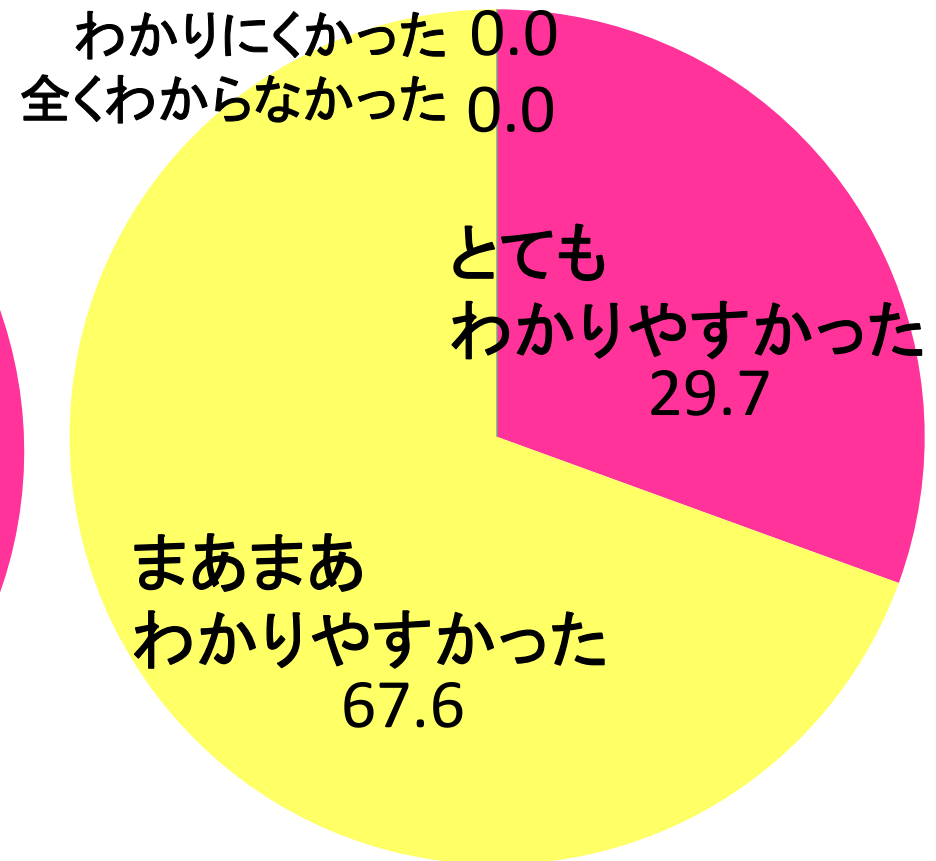
- 統計資料の読解は答えが1つではない
- 意見を出し合ったうえで、地域理解に繋げたい

生徒の感想（選択回答）

Q: 地理の授業で写真や動画を使うと内容の理解に役立つか？全く役立たない



Q: 授業は全体としてわかりやすかったか？



生徒の感想（自由記述）

「わかりやすかった」（20）

- ・黒板のみより、写真や動画を使う方がわかりやすい
- ・動画があった方が分かりやすかった
- ・いつもよりスクリーンが大きくて良かった
- ・いつもより動画の説明が多くてわかりやすかった
- ・口頭だけの説明よりカラー写真があるとわかりやすい
- ・聞き逃しても確認ができるし、わかりやすい
- ・ヨーロッパについて、だいたいわかった

生徒の感想（自由記述）

「楽しかった」（7）

- ・動画がハイテク過ぎて感動！
- ・動画などを見ながらの授業は楽しく感じた
- ・普通の黒板の授業より楽しかった
- ・あまり飽きずに授業を受けられた
- ・地理の授業で写真や動画があると、見やすく楽しい

生徒の感想（自由記述）

その他：反省すべき意見

- ・知っていて当然のことしかやっていない
- ・印刷が微妙でプリントが見にくいことがある
- ・3番（夜の明かり）までは覚えているが、それ以降はあまり覚えていない

まとめ

- ICTは**興味・関心**の喚起や**知識・理解**の醸成に有用であることを改めて確認
 - ※ 生徒から「楽しかった」「わかりやすかった」との感想多数
- 情報量を厳選し、**作業**や**言語活動**の機会を充実させることが必要